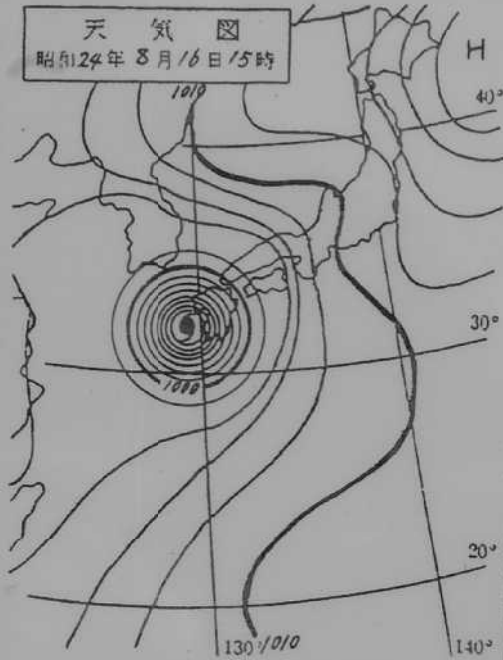
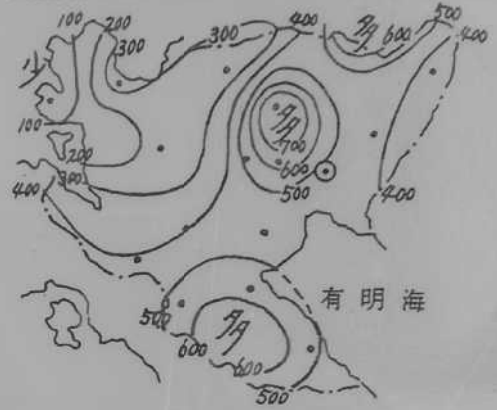


天気図
昭和24年8月16日15時



雨量分布図(昭和24年8月14日-8月18日)



佐賀の最低気圧 983.9mb 8月16日04時24分

最大風速 NE 14.7m 8月16日04時30分

しゅん間最大風速 SSE 21.6m 8月16日17時56分

総降水量 489.7mm 自 8月15日 至 8月18日

任意1時間最大降水量 40.6mm 自 8月16日15時20分 至 8月16日16時20分

任意10分間最大降水量 9.4mm 自 8月16日16時08分 至 8月16日16時18分

特記事項

被害表

罹災者総数31,816, 死者89, 行方不明6, 重傷34, 軽傷247, 住家全壊234, 流失128, 半壊610, 床上浸水20,492, 床下浸水28,290, 非住家被害1,167, 田流失埋没1,143町, 冠水25,200町
畑流失埋没395町, 冠水1,604町, 道路決壊1,552, 橋梁流失469, 堤塘決壊722

解説 P. 52 参照

この台風は7日頃パラオ付近に発生しゆっくり北西進しながら発達し13日6時には石垣島の南南東300Kmの洋上に達した。その後北北東に進み名瀬の東方から北上して九州南部に上陸し衰弱しながら朝鮮海峡を通り山陰へ向かった。

この台風の特徴は九州上陸後速度がにぶつて急に衰弱して前線性の雨と台風をつぶれる雨とが重なったところの雨台風になったことである。

このように台風が上陸してつぶれる時には多量の雨を降らせるものであるから上陸した台風の速度が急におそくなつてしまつた時には特に注意を要する。この台風の場合には前線の雨が大きく効いており佐賀, 人吉などでは500ミリに近い雨が降り山添地帯では700ミリを越える雨が降つた。従つて被害も大きく上記被害表の通り多数の死傷者や倒れたり浸水した家があつた。

この台風に限り他県の被害より佐賀県の被害が極端に大きかつた。